

令和3年

4月

No.49

Spring



所沢の“今”が2分でわかる！

ところざわ通信

Tokorozawa News



01 新生メットライフドームでV奪回へ！

3月8日(月)取材 メットライフドーム (上山口)



ボールパーク化と選手育成を目的としたメットライフドームエリアの改修計画が完了しました。座席はプレミアムエキサイトシートをはじめとする多種多様な28種類に。従来の2倍の大きさになったLEDスクリーンは音響もクリアで迫力満点。内野席の防護ネットは支柱レス化してより見やすく。さらに子育て世帯にはうれしい大型遊戯施設やキッズルームまで完備。選手の練習環境も充実。今シーズンの埼玉西武ライオンズの活躍が楽しみです。

02 成人のつどい

3月20日(土) 市内各地区



新型コロナの影響で延期された所沢市成人のつどい。みんなの願いと関係者の努力の甲斐あって、約2カ月遅れのこの日、無事に各地区で開催されました。柳瀬まちづくりセンターでも、間隔を十分に空けて椅子が配置された広い会場いっぱいに晴れ着の新成人が集まりました。久しぶりに友だちの姿を認めて飛び交う喜びの声。マスク越しに交わす笑顔と記念写真を撮る姿があちらこちらで見られました。
撮影：市民カメラマン・浅見司郎

03 春を感じる ところざわサクラタウンの桜まつり

3月27日(土)取材 ところざわサクラタウン (東所沢和田)



東川の桜が見ごろを迎える中、24日(水)～27日(土)に桜まつり2021が、27日(土)には疫病収束の願いを込めた鎮花祭が行われました。中央広場のピクニックマルシェでは所沢市の特産品を始め、活気ある屋台がたくさん出店。千人テラスでは、キッズダンスやチアダンスのグループが盛り上げていました。にぎわうサクラタウンと静かな東川。両方を楽しめる新スポットです。
撮影：市民カメラマン・藤本えみ

04 被災地支援の絆・福島の高校の新校歌を録音

3月27日(土) 市民文化センターミュージズ



所 沢西高校の被災地支援から交流が続いてきた福島県のいわき海星高校が、この春、合併により小名浜海星高校として再出発。新校歌の作曲を元所沢西高校の先生が引き受けたこともあり、同校吹奏楽部とOBや所沢高校も含めた有志の合唱団が音源を制作することに。録音本番のこの日、参加者たちが心を合わせて練習と録音を行いました。被災地の未来を作る活動はこれからも広がるでしょう。

撮影：市民カメラマン・中村仁

05 ところワゴン出発式・試乗会

3月28日(日) 三ヶ島まちづくりセンター



4月 から三ヶ島地区で実証運行が始まった「ところワゴン」。きめ細やかな公共交通のための新たな交通手段です。ルートは狭山ヶ丘駅が起点の2路線で、ところバスが入れないような狭い道にも対応。3台のワゴンには愛称が付けられ、車体の鮮やかな緑も地元の皆さんと話し合って決められました。乗降ステップ、手すり、車いす用電動リフトも装備。準備万端で出発進行です。

撮影：市民カメラマン・三平資郎

06 狭山湖ふれあい橋渡り初め式典

3月28日(日) 狭山湖ふれあい橋(上山口)



狭 山湖の桜が開いた良き日に、狭山湖の人道橋が完成。工事を施工した(株)本橋組により渡り初め式典が催されました。感謝状の贈呈や桜の記念植樹、テープカットなどの後、宮司を先頭に市長、副市長、市議会議長、上下水道局長が渡り初めを行いました。一般開放された橋は、お花見に来た家族連れや友人同士など多くの人々でにぎわっていました。

撮影：市民カメラマン・久保純子ほか

最新情報はこちら

市ホームページ内「ところざわ通信」をご覧ください。



所沢市広報課フェイスブックもチェック!



令和3年(2021年)4月発行号【No.49】

発行 所沢市

〒359-8501 所沢市並木1-1-1

編集 広報課 ☎04-2998-9024

FAX 04-2994-0706

市HP <https://www.city.tokorozawa.saitama.jp/>

広報マスコット
ひばりちゃん

